

船舶事故調査報告書

平成26年5月15日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	衝突（かき筏 ^{いかだ} ）
発生日時	平成25年11月21日（木） 06時07分ごろ
発生場所	広島県江田島市大黒神島北方沖 江田島市所在の畑港西防波堤灯台から真方位190° 1,600m 付近 （概位 北緯34° 11.3′ 東経132° 24.4′）
事故調査の経過	平成25年12月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート Y ^ユ O ^ウ 、5.6トン 290-41029広島、有限会社可部組 9.99m (Lr) × 3.09m × 0.88m、FRP ディーゼル機関、285kW、平成元年10月
乗組員等に関する情報	船長 男性 67歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成3年9月25日 免許証交付日 平成21年11月13日 （平成26年11月15日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	本船 不詳 かき筏 資材の竹60本を折損
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者5人を乗せ、大黒神島北方沖を航行中、平成25年11月21日06時07分ごろ、畑港西防波堤灯台から真方位190° 1,600m付近において、かき筏に衝突した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 2、視界 良好 海象：波高 数十cm、潮汐 低潮時 日出時刻：06時48分
その他の事項	大黒神島北方沖には、東西方向の長さ約1,700～2,600m、南北方向の長さ約2,900～3,700mであるかき養殖漁場が設定され、その周囲に9個の標識灯が設置されていた。 かき筏は、竹製であり、5台を1連とし、1台の大きさが縦約20

	m、横約10mであった。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 本船は、大黒神島北方沖を航行中、かき筏に衝突したことから、かき筏の資材の竹を折損したものと考えられるが、船長から情報が十分に得られなかったため、衝突に至った状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、夜間、本船が、大黒神島北方沖を航行中、かき筏に衝突したため、発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・養殖施設や障害物については、事前に調査して正確な位置を把握しておくこと。